

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	老人クラブ活性化促進事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課(室)	
総合計画体系			根拠法令 計画など	老人福祉法(昭和38年、法律第133号)第13条の2	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="14"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		高齢者福祉			
施策	4	高齢者福祉の推進			
基本事業	1	生きがいと健康づくりの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市老人クラブ連合会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市老人クラブへの運営費の助成、各種の情報提供及び地域包括支援センターとの交流会の開催等を通じ、老人クラブ活動の活性化を目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		個別活動参加率	22.0	26.0	28.1	29.8	30.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	①老人クラブ活動の活性化を推進するため、介護予防リーダーのクラブ活動を支援すると共に、市が実施する介護予防事業やサロン等に介護予防リーダーの活動の場を提供した。 ②友愛訪問員の活動支援として「地域支え合い体制づくり事業」(10/10補助事業：徳島県)を活用し、「ひとり暮らし高齢者連絡カード」を利用した連携を図った。③地域包括支援センターとの交流会の開催。④老人クラブが実施する介護予防活動(セーフティウォークラリー・体力測定)の支援。⑤介護予防普及研修会の講師の派遣。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
活動指標	実施した事業の活動量を示す指標	1 会員数	3,413	3,239	3,350	3,360	3,360	人
		2 個別活動参加者数	816	897	940	1,000	1,000	人
	成果指標	対象にどのような効果があつたか示す指標	個別活動参加率	23.9	27.6	—	—	—
		目標達成率(実績/目標)		106.2	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	3,195	3,195	3,082	3,082	3,082	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	2,129	2,054	2,054	2,054		2,054
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	1,066	1,141	1,028	1,028		1,028
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		0	0	0	0	0	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	臨時職員等(2,023千円/人)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,195	3,195	3,082	3,082	3,082	千円	

【事務事業名:老人クラブ活性化促進事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	介護予防リーダーを活用した健康づくり活動の実施に向けて支援を行う。「ひとり暮らし高齢者見守りネットワーク」の一員としての友愛訪問活動の継続に向けての支援。 地域ケア会議への参加・協力の呼びかけ等関係機関と老人クラブの連携強化支援。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 高齢者福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業対象は適切である。	
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	少子高齢化に伴い高齢者人口は増加しているが、自己実現のためのニーズの多様化等により老人クラブ会員数は年々減少している。特に会員の高齢化が進んでおり、平均年齢は高くなってきている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 4月 ▼			
	どのように改革するのか	引き続き会員減少への歯止めと会員の若返りに向けて、組織の活性化を検討していく必要がある。			